


小嶺 千尋 (KOMINE, Chihiro)

沖縄キリスト教学院大学 人文学部英語コミュニケーション学科 准教授

【プロフィール】

| | | |
|--------------------|--|---|
| 取得学位、 大学・機関、取得年 | <p>学士号 琉球大学法文学部人文学科欧米文化コース卒業、2000年</p> <p>修士号(アメリカ研究)カリフォルニア大学フラートン校 (California State University at Fullerton), アメリカ研究学部大学院修士課程修了、2004年</p> <p>ハワイ大学マノア校アメリカ研究学部博士課程中退(2015年)</p> |  |
| 専門分野 | アメリカ研究(アメリカン・スタディーズ) | |
| 研究分野 | ジェンダー研究、米国マイノリティ文学、先住民研究、ハワイ・沖縄ディアスポラ研究 | |
| 研究職歴等 | <p>琉球大学 非常勤講師 2012-2019</p> <p>沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 特任講師 2017-2019</p> <p>沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 准教授 2020-</p> | |
| 担当科目 | Active Reading、シマの視点からみるハワイと沖縄、米国文学作品研究、Media, Identity, and Power、ジェンダーと多文化社会 | |

【研究活動業績】

| | |
|-------------------|---|
| 研究業績 (主要論文・著書) | 「Native Voice (先住民の声), Intersection (交差性), and Kuleana (立ち位置と責任)—沖縄における「ハワイアン・スタディーズ」コース・デザインの試み—(沖縄キリスト教学院大学論集、2019) |
| (翻訳) | 「トニ・モリスンの The Bluest Eye (『青い眼がほしい』) の沖縄における読みの実践: 文化研究の手法と多言語的アプローチ」(沖縄キリスト教学院大学論集、2017) |
| (その他) | <p>“U.S. Occupation of Okinawa by Photography: Visual Analysis of Shurei no Hikari,” OJAS: The Okinawan Journal of American Studies (2009)</p> <p>Wesley Iwao Ueunten / 崎原千尋(訳)「21世紀のグローバル社会における沖縄アイデンティティ自己決定、真心、愛」『沖縄・ハワイ: コンタクトゾーンとしての島嶼』(彩流社、2010)</p> <p>インタビュー「大城 貴代子 元沖縄県女性政策室長 オーラル・ヒストリー」成果報告書「人の移動と21世紀のグローバル社会プロジェクト」(琉球大学、2012)</p> <p>“From Unai to Unai”: Post-reversion Generation’s Challenges in Continuing History of Unai Festival” 事業報告「沖縄におけるジェンダー学の理論化と学術的実践—沖縄ジェンダー学の創出」(琉球大学国際沖縄研究所、2012)</p> |
| 社会活動等 | <p>大学コンソーシアム沖縄創立10周年記念事業企画・運営委員(2024-2025)</p> <p>沖縄県女性団体連絡協議会 2019年新春の集いシンポジウム「女性の政治参画について」コーディネーター</p> <p>ハワイ東西センター沖縄同窓会(会計 2010、理事 2016)</p> <p>沖縄県女性力・地域力人材育成促進事業「沖縄うない研究者ネットワーク活性化事業」(2013)共同代表</p> |



| | |
|------|----------------------------|
| | 那覇市うないフェスティバル 2011 共同実行委員長 |
| 所属学会 | 沖縄外国語文学会、マイグレーション研究会 |

一言

[一言]縦のつながり(うやふあーふじや沖縄の歴史とのつながり)と横のつながり(たとえば黒人女性、ネイティブ・ハワイアン、ハワイのウチナーンチュたちとのつながり)を意識した授業づくりを目指しています。この「縦＝沖縄」と「横＝国際的な平和、平等、多文化共生の視点」の糸がつながる「場」を、キリ学でみなさんと共につくっていきたいと思います。そして、沖縄で生きる私たちそれぞれの「スクブン」(うちなーぐちで「責任を持って自分が引き受けるべき権利」のような意味)とは何かを、一緒に模索していきましょう！